

環境教育掲示用教材 指導資料

環境教育掲示用教材は、児童・生徒に地球環境保全に関する必要な知識を与え、3 Rをはじめとする地球環境に配慮した行動の大切さを理解させ、その実践を促すことを目的として作成した教材です。
本指導資料では、学校の授業等で活用できるよう、環境教育掲示用教材を活用した活用例等を紹介します。

環境教育掲示用教材の活用例

環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
私たちの海が危ない！国境をこえる海ごみ



環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
私たちの海が危ない！国境をこえる海ごみ

年 組 名前 _____

① 海ごみはどのように国境をこえるのだろうか？

② 海ごみが生物にあたえる影響や、海ごみを減らす世界の活動について調べてみよう。

③ 自分にできる取組を考えよう。

環境学習の視点 自分たちの日々の生活や行動が地球環境保全につながることに理解し、環境に配慮した生活を心掛けていこうとする態度を育てる。

ねらい 海ごみが国境を越えた環境問題になっていることを理解するとともに、海の環境や生き物を守るために、自分にできる取組を考え、実践する。

活動内容（○主な活動）	教師の支援（◇留意点）	◆掲示用教材等との関連
○掲示用教材①を見て、海ごみの種類について知る。 海の環境や生き物を守るために、自分にできる取組を考えよう。	◇写真を基に、海ごみは漂流ごみ、海底ごみ、漂着ごみに分けられることを伝える。	◆掲示用教材①
○掲示用教材②③④⑤を基に、海ごみがどのように国境を越えて運ばれているかについて、個人やグループで調べるとともに、学級全体で話し合う。	◇イラストやグラフ等を基に、海外から日本に流れ着くごみがある一方で、日本から出たごみが海外にたどり着く例もあることを理解させる。	◆掲示用教材②③④⑤ ◆ワークシート①
○掲示用教材④⑥⑦を参考に、海ごみが生物に与える影響や、海ごみを減らす世界の活動などについて考える。	◇写真を基に、海ごみの大半をしめるプラスチックは自然には分解されず、海の生物や環境をおびやかしていることを理解させる。 ◇写真を参考に、東京とニューヨークの小学生が行った海ごみについての環境学習の取組等について伝える。	◆掲示用教材④ ◆ワークシート② ◆掲示用教材⑥ ◆ワークシート②
○掲示用教材⑧を参考に、自分にできることを考える	◇イラストを参考に、物を大切に使う江戸時代の生活の知恵について伝える。	◆掲示用教材⑦
○気付いたことや感想を発表する。	◇イラストを参考に、自分にできる取組について考えさせる。 ◇児童一人一人が地球環境保全につながる生活の必要性に気付くよう、活動を振り返らせる。	◆掲示用教材⑧ ◆ワークシート③

かんきょう
環境問題について調べて、自分にできることを実行しよう。
わたし
わたしの海が危ない！
あぶ
あぶな
こっきょう
こっきょう
国境をこえる海ごみ

年 組 名前

1 海ごみはどのように国境をこえるのだろう？



2 海ごみが生物にあたえる影響や、海ごみを減らす世界の活動について調べてみよう。



3 自分にできる取組を考えよう。

